共通価値の創造　日本での取り組み

制作：ネスレ日本株式会社 マーケティング＆コミュニケーションズ本部　2020年6月

CEOメッセージ

ネスレは、世界最大の食品飲料会社です。世界187カ国で事業展開し、約30万人の従業員が、「生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します」というネスレの存在意義を示すために働いています。

ネスレのスイスでの創業は、栄養不足による乳幼児の死亡率の高さに心を痛めた創業者アンリ・ネスレが乳児用シリアルの開発に成功したことから始まります。以来150年以上にわたってネスレは社会問題の解決に取り組んでまいりました。

約10年前、ネスレは「共通価値の創造」という考えを提唱しました。共通価値の創造は、ネスレの存在意義を実現していくための事業戦略です。事業を通じて社会的な問題を解決することこそが、私たちの使命であり、同時に成長の機会でもあります。

ネスレ日本は、お客さまやペット、そして社会に対して高品質で安全な食品・飲料の提供をするという重要な役割と責任を担っています。安全で、美味しく、心にも体にも嬉しい、そして使いやすく、環境にも配慮された製品やサービスを確実にお客さまにお届けできるように、日々努めています。

皆さまから信頼される企業となるため、これからも製品と付加価値の高いサービスを通じて、皆さまの生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献してまいります。

ネスレ日本株式会社
代表取締役社長兼CEO
深谷　龍彦

ネスレは、生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します

「生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します」という存在意義に動機づけられたネスレの2030年に向けた長期的な目標は、国際連合の持続可能な開発のための2030アジェンダに合致しています。

ネスレは世界中の何十億人という人々の生活に関わっています。私たちはネスレ製品を楽しんでくださる個人や家族の皆さまから、私たちが暮らし働く、そして原材料を供給してくれるコミュニティ、さらに私たちすべてが依存する自然環境に至るまで、関わりを持っています。

個人と家族のために
さらに健康で幸せな生活を実現します

「ネスカフェ　アンバサダー」プログラムは、コーヒーマシンを職場やコミュニティでご活用いただくサービスです。
一杯のコーヒーを起点に会話や笑顔を広げる“コミュニケーションの活性化”に貢献します。

「ネスカフェ アンバサダー」

コミュニティのために
困難に負けない活力あるコミュニティを育成します

2019年、ネスレ日本と沖縄SV株式会社は、沖縄県名護市、琉球大学と連携し、沖縄で初となる大規模な国産コーヒーの栽培を目指す「沖縄コーヒープロジェクト」を開始しました。

沖縄コーヒープロジェクト

地球のために
未来の地球のために資源と環境を守ります

ネスレは、2025年までに、ネスレ製品のパッケージを100%リユース（再使用）もしくはリサイクル（再生利用）可能にするというコミットメントを打ち立てました。

「キットカット」紙パッケージ

個人と家族のために

さらに健康で幸せな生活を
実現します

消費者の嗜好は変わり続けています。ネスレはこうした変化を反映した製品ラインアップを開発しています。私たちは、より栄養価が高く自然な製品を製造しています。ネスレの主要な取り組みである「ネスレ　ヘルシーキッズ」は、2030年までに5,000万人の子どもたちがさらに健康な生活を送れるように支援する取り組みの原動力です。

数字でわかる

「ネスカフェ アンバサダー」の
応募者は**48万人**を突破しました。
（2020年3月現在）

「介護予防カフェ」はこれまでに
神戸市内で**81か所**
立ち上がりました。
（2020年3月現在）

「ネスカフェ アンバサダー」

「ネスカフェ　アンバサダー」プログラムは、職場やコミュニティに「ネスカフェ」のコーヒーマシンを無料で貸し出し、専用のコーヒーカートリッジの定期購入と代金回収は「ネスカフェ　アンバサダー」と呼ばれる職場の代表者に協力していただくサービスです。一杯のコーヒーを起点に会話や笑顔を広げる“オフィス内コミュニケーションの活性化”といったベネフィットが受け入れられ、応募者は48万人（2020年3月時点）を突破しました。

利用者の声をもとにしたサービスへの反映・改善も継続的に行っており、2019年11月には、オフィスや店舗で人手や手間をかけずに本格的なカフェラテやコーヒーの提供が可能なレンタル専用マシン「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ デュオ プラス」のレンタルサービスを開始しました。

「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ デュオ プラス」は、ディスプレイ搭載で簡単操作、キャッシュレス決済にも対応しているので、集金の手間や小銭を出すことの煩わしさの解決につながっています。

また、一人ひとりに合った健康習慣をお届けする「ネスレ ウェルネス アンバサダー」プログラムも展開しています。

介護予防カフェ

2013年、兵庫県神戸市とネスレ日本は、「こうべ 元気! いきいき!! プロジェクト」の連携協定を締結しました。栄養や健康に関するノウハウを活かし、高齢者の生活の質の向上に貢献しています。取り組みの一つである「介護予防カフェ」にコーヒーマシン「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ」などを提供し、「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場づくりを応援しています。すでに神戸市内の81か所(2020年3月現在)で立ち上がり、地域コミュニティの活性化に貢献しています。

「ネスカフェ」を楽しみながら語らう集いの場「介護予防カフェ」

「ネスレ ヘルシーキッズ」

幼い頃に、栄養・健康・ウェルネスに関する知識と実践する力を身につけることは、生涯を通じた財産となります。ネスレがグローバルで推進する旗艦イニシアチブ「ネスレ ヘルシーキッズ」は、胎児期から青年期の重要な時期に、親や保護者を啓発し、支援することを目指しています。ネスレ日本では2018年から従来の食育・運動プログラムを子どもだけでなく、保護者や高齢者にも拡大し、地域コミュニティの活性化を目指して地方自治体や子ども食堂などの団体と取り組んでいます。

2019年3月には、三重県桑名市において、公民連携で、卓球とカフェを通じた健康増進や地域交流を目指した「桑名卓球珈琲(カフェ)プロジェクト」を立ち上げ、行政、医療センター、民間企業、NPOが、地域住民とともに元気で活力ある健康なまちづくりに取り組んでいます。

写真提供:INAC神戸レオネッサ

2019年、ネスレ日本は神戸を本拠とする女子サッカークラブ「INAC神戸レオネッサ」のエデュケーショナルパートナーとなり、神戸市在住の小学生とその保護者を主な対象として、両社で「栄養」と「運動」についての学びの機会を広く提供する活動を始めました。

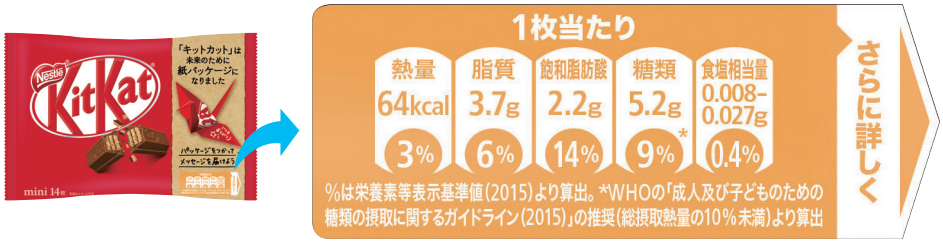
ネスレ ヘルスサイエンス

日本では30年以上の歴史がある「アイソカル」をはじめとした栄養補助食品を全国1万軒以上の医療機関・介護施設の現場でご利用いただいています。

少量高カロリーのコンパクト栄養食「アイソカル100」や「アイソカルゼリー ハイカロリー」は、食事量が気になるときや飲み込みが気になるときなどにも栄養を手軽に補給できるため、高齢者の健康維持に役立てられています。

製品パッケージ上の栄養表示

健康的な食生活に役立つ情報を提供し、製品に対する理解を深めてもらうために、ネスレでは製品パッケージ表面で1食分当たりのエネルギー、脂質、飽和脂肪酸、糖類や食塩の量と、それらが1日の目安に対して占める割合(%)をアイコン化し、わかりやすく表示しています。さらにパッケージ裏面の「ネスレ ニュートリショナルコンパス」の栄養成分表示と連動し、詳しい栄養情報をガイドします。



栄養ガイド表示(カロリーガイド表示):栄養素の1食分当たりの量とそれが摂取目安に対して占める割合(%)をアイコン化し、わかりやすく表示しています。

コミュニティのために
困難に負けない活力ある
コミュニティを育成します

ネスレは世界各地の農業従事者やサプライヤーと協力しながら、活力あるコミュニティの育成と、農村開発の支援、そして男女平等の推進と人権の尊重に取り組んでいます。

沖縄コーヒープロジェクト

2019年、ネスレ日本と沖縄SV株式会社は、沖縄県名護市、琉球大学と連携し、沖縄で初となる大規模な国産コーヒーの栽培を目指す「沖縄コーヒープロジェクト」を開始しました。

近年、沖縄県では農業就業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地への対応など、一次産業における問題が発生しています。沖縄県内の耕作放棄地などを活用し、沖縄を拠点とする国産コーヒー豆の栽培を本格的に開始することで、沖縄県の一次産業における問題解決を目指しています。

世界中のコーヒー生豆のサプライチェーンを継続的に改善することを目的としたプログラム「ネスカフェ プラン」に取り組むネスレは、コーヒーを栽培する上での技術支援・コーヒーの種子の提供などを行っています。これまでに約1,500本のコーヒーの苗木が栽培されており(2020年5月現在)、今後も継続して栽培を行っていく予定です。これらの収穫は2022～23年頃となりますが、順調に育てば最大でコーヒー約40万杯分の量となる見込みです。

また、今後は地元住民や農家の皆様とも連携しながら沖縄県産のコーヒー豆の生産量を拡大し、沖縄県産のコーヒー豆やコーヒー製品を新たな特産品とするとともに、環境に配慮した沖縄の新たな観光資源としてサッカー場を併設したコーヒー農園を将来的に開発するなど、コーヒー豆の栽培を通じて新たな産業を育成することも目指しています。

数字でわかる

「沖縄コーヒープロジェクト」で
約1,500本のコーヒーの苗木が
栽培されています。
(2020年5月現在)

社員の有給休暇の取得率は
80.8%でした。
(2019年)

ネコのバス

ネスレ ピュリナ ペットケアは、保護された猫（保護猫）のためにバス車両を全面的に改装した「ネコのバス」を活用して譲渡会を実施し、保護猫の啓発と譲渡促進に貢献しています。
2018年4月に活動を開始してから、神戸、大阪、名古屋をはじめとする15都市以上で保護猫の譲渡や啓発活動を行っています。これからも各地の自治体や動物保護団体と連携し「ネコのバス」での活動をはじめとする積極的な活動を通して、「人とペットが共生する社会」の実現に貢献してまいります。

「ネコのバス」の車内は譲渡に適した環境となっています。

イノベーションアワード

ネスレ日本は、少子高齢化が進む成熟先進国の日本で、製品やサービスを通じて日本社会が抱えるさまざまな問題の解決に取り組んでいます。日本社会はさらに複雑化し、それぞれが抱える問題も多様化しています。日々刻々と変化していく問題を解決するためには、社員一人ひとりがイノベーションを通じて顧客に価値を提供しなければなりません。社員全員が顧客の問題を発見し考える力を養うことができるよう、ネスレ日本では「イノベーションアワード」とよばれる社内コンテストを毎年実施しています。社員全員が、自分の顧客は誰か、顧客が抱える問題は何かについて考え、問題を解決するためのアイデア、そしてそれを実行した結果を応募します。
2019年は、動物病院とペットオーナー様をつないで療法食の推奨・指導管理、購入、配送を一括管理するサービス「ピュリナ プロプラン ベッツサポート」が金賞を受賞しました。

ダイバーシティ&インクルージョン・働きやすい職場

さまざまな違いを持つ社員が集まった組織の方が新しい発想やイノベーションが生まれやすくなると考え、ネスレ日本はダイバーシティ&インクルージョン(多様性を認め、受け入れ、活かす)の推進に取り組んでいます。2019年には、アンコンシャスバイアス(無意識の差別や偏見)への気づきを促す研修や、「マギー」の調味料を使用した料理が簡単に作れるように、社員向けの料理教室を実施しました。

また、誰もが働きやすく成果を出せる組織の実現を目指し、全社で業務の効率化や働き方の改革に取り組んでいます。在宅勤務をはじめ、働く時間と場所を最大限自由化したフレキシブルな働き方が可能なため、社員はワークライフバランスを保ちながら働くことができます。有給休暇の取得も推進しており、2019年の年次有給休暇の付与対象者の取得率は80.8%でした。

アンコンシャスバイアス研修

「マギー」料理教室

コンプライアンス

ネスレは「ネスレの経営に関する諸原則」および「ネスレ考働規範」に基づき、世界中で事業を行っています。2019年には全マネジャー向けに外部講師を招いてのハラスメント研修を実施しました。
また、すべての社外ステークホルダーの皆さまから、ネスレのコンプライアンスに反する可能性がある案件について連絡していただく専用システム「Tell Us - お聞かせください」を企業サイト上に設けています。

〈ネスレ企業サイト　Tell Us-お聞かせください〉
https://www.nestle.co.jp/aboutus/principles/report-your-concerns

地球のために
未来の地球のために
資源と環境を守ります

ネスレはさらに持続可能な社会を目指して、さらに持続可能な企業でありたいと考えています。そのため、生物多様性と天然資源を保護すると同時に、他者にも責任ある行動をとるように促していきます。長期的な目標は、ネスレの事業活動において環境負荷ゼロを目指すことです。持続的に管理された再生可能な資源の利用、さらに効率的な事業運営、廃棄物ゼロの達成、水資源管理の改善に向けたコミットメントを設定しています。

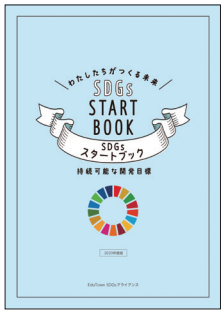
数字でわかる

ネスレ日本で使用する包装材料の
94.7%が、2019年末時点で
リサイクル可能、あるいはリユース
可能です。

2016年以降、国内3工場で
焼却・埋立廃棄物ゼロを
達成し、現在も継続しています。

ネスレの製品パッケージの環境パフォーマンスを改善する

ネスレは包装材料を2025年までに100%リサイクル可能、あるいはリユース可能にするというコミットメントを発表しました。日本においても「ネスカフェ」や「キットカット」等の製品パッケージの環境パフォーマンスの改善に取り組んでいます。
2019年には「キットカット」の大袋主要5製品の外袋素材をプラスチックから紙に変更しました。2020年は取り組みの拡大により、年間450トンのプラスチック削減を見込んでいます。
また、「ネスカフェ エコ&システムパック」では、2008年の発売以降、継続的にパッケージ素材の改良に取り組んでいます。
このような取り組みの結果、ネスレ日本で使用する包装材料の94.7%が、2019年末時点でリサイクル可能、あるいはリユース可能となっています。



ネスレはプラスチック廃棄物の削減についてのさまざまな啓発活動を行っています。
「キットカット」のパッケージ紙化の取組みは、プラスチックごみ削減の活動として小・中学校のSDGs教材で紹介されています。

SDGsスタートブック
(発行:EduTownSDGsアライアンス)

国内3工場で焼却・埋立廃棄物ゼロ

2016年、国内の全3工場が焼却・埋立廃棄物ゼロを初めて達成、現在も継続しています。島田工場（静岡県）と姫路工場（兵庫県）では、コーヒー抽出工程で排出されるコーヒーかすのほぼ100%を燃料として再利用し、その燃焼エネルギーで発生した蒸気を工場の熱源として利用しています。また、島田工場は、2010年から、製造過程で発生するコーヒーかすの一部を培養土にリサイクルする活動も続けています。「キットカット」を製造する霞ヶ浦工場（茨城県）は食物残さの全量飼料化に取り組んでおり、包装工程後に、チョコレートと包装材料を分離する機械を導入、分別と資源活用を効率化しています。

姫路工場：コーヒーかす熱エネルギー回収システム

神戸周辺、湘南など各地の海岸清掃活動に社員が参加しました。

社員の行動変革
海岸清掃活動・社内での
シングル・ユース・プラスチックの使用削減

プラスチック廃棄物の削減のためには、社員一人ひとりの意識を変えることが重要と考え、世界中でネスレ社員による海岸清掃活動に取り組んでいます。

また、ネスレ日本ではシングル・ユース・プラスチック（使い捨てストローやカップなど、一回しか使用されず捨てられるプラスチック製品）の削減にも取り組んでいます。2020年1月から、ネスレ日本の事業所においてカップやマドラーなど使い捨てプラスチックアイテムの使用を廃止しました。

2019年 ネスレ日本 重要課題マトリックス

ステークホルダーの関心事であり、ネスレの事業にとって重要な課題に優先的に取り組むために、
重要課題分析を2年ごとに実施しています。

社外ステークホルダーの重要度評価 ＼ 社内ステークホルダーの重要度評価	やや重要	重要	非常に重要
非常に重要		人権の尊重	商品パッケージとプラスチックの削減
重要	食品の放射能汚染 自然災害対応 持続可能な農林水産業の実現 気候変動 水資源の保全 汚染の防止	トレーサビリティの確保 食物アレルギー・グルテンフリー・ハラル等への対応 健康寿命の延伸 残留農薬 健康情報の表示 消費者保護 企業活動の透明性確保と迅速な情報提供 ワークライフバランスの実現 ダイバーシティ 資源利用の効率化	高齢者の健康 データセキュリティ 製造・流通プロセスにおける安全衛生管理 社員の安全・健康の確保 ビジネス倫理 公正で働きがいのある職場環境の提供
やや重要	過剰栄養	食習慣の変化 公正なマーケティングと広告 高齢化・高齢者支援 新しい技術の責任ある利用 事業の継続性確保	

個人と家族のために	コミュニティのために	地球のために
データセキュリティ 高齢者の健康 トレーサビリティの確保 製造流通プロセスにおける安全衛生管理 健康寿命の延伸 食物アレルギー・グルテンフリー・ハラル等への対応 残留農薬 食品の放射能汚染 健康情報の表示 消費者保護 食習慣の変化 高齢化・高齢者支援 過剰栄養 公正なマーケティングと広告	人権の尊重 社員の安全・健康の確保 ビジネス倫理 公正で働きがいのある職場環境の提供 企業情報の透明性の確保と迅速な情報提供 ダイバーシティ ワークライフバランスの実現 持続可能な農林水産業の実現 自然災害対応 事業の継続性確保 新しい技術の責任ある利用	商品パッケージとプラスチックの削減 気候変動 水資源の保全 汚染の防止 資源利用の効率化